

Canon

ビューワソフトウェア

使用説明書

Ver. 3.6

JPN

もくじ

はじめに

お客様へのお願い.....	4
著作権について.....	4
音声に関する注意事項.....	4
商標について.....	4
表記について.....	4
WebView Livescope の概要.....	5
ビューワの概要.....	6
Java用ビューワ.....	6
PC用ビューワ.....	7
動作環境.....	8
Java用ビューワ.....	8
PC用ビューワ.....	8

第 1 章 Java 用ビューワ

Java用ビューワを使用するための準備.....	10
Internet Explorer を使用する場合.....	10
Netscape を使用する場合.....	10
Java用ビューワを起動する.....	14
Java用ビューワの操作方法.....	15
「LiveApplet」の表示画面について.....	15
パノラマウィンドウ.....	16
カメラ制御を開始する.....	17
カメラを制御する.....	18
カメラのアングルを変更する.....	18
カメラのズーム倍率を変更する.....	19
カメラを選択する.....	20
プリセットを使用する.....	20
逆光を補正する.....	21
映像のスナップショットを取り込む.....	22
「Glimpse」の表示画面について.....	23

第 2 章 PC 用ビューワ

PC用ビューワを使用するための準備.....	25
PC用ビューワをインストールする.....	25
推奨Webブラウザ以外でご使用になるには.....	26
PC用ビューワを起動する.....	27
Webブラウザから起動する.....	27
単独で起動する.....	27

カメラサーバに接続する.....	28
接続先を指定して接続する.....	28
登録されたカメラサーバを選択して接続する.....	29
切断する.....	29
PC用ビューワの操作方法.....	30
「PC用ビューワ」の表示画面について.....	30
パノラマウィンドウ.....	31
カメラ制御を開始する.....	32
カメラを制御する.....	33
カメラのアングルを変更する.....	33
カメラのズーム倍率を変更する.....	34
カメラを選択する.....	35
プリセットを使用する.....	35
映像ソースのサイズを変更する.....	36
全画面表示にする.....	36
逆光を補正する.....	37
動画表示を停止・再開する.....	37
接続中のカメラサイトを登録する.....	38
音声を再生する.....	38
映像を保存・印刷する.....	39
ファイルに保存する.....	39
映像を印刷する.....	39
情報を表示する.....	40
動画情報 / 接続情報 / カメラ情報 / ネットワーク.....	40

第 3 章 PC 用ビューワ環境設定

環境設定.....	42
「起動時設定」を行う.....	42
「HTTP プロトコル」の設定.....	43
「起動画面サイズ」の設定.....	44
サーバの登録と変更.....	45
カメラサイトリストに登録する.....	45
リストに追加する.....	45
リストの登録内容を変更・削除する.....	46

付録

エラーメッセージ一覧.....	48
索引.....	51

はじめに

この使用説明書は「WebView Livescope ビューソフトウェア Ver. 3.6」の使用方法について説明しています。ビューには Java 用ビューと PC 用ビューの 2 種類があり、映像発信者が用途に応じて使い分けています。映像を見るという基本機能は同じですが、それぞれに特長、機能が異なります。また、ビューを使用するコンピュータの環境に応じて、必要な動作環境やご使用前の準備が異なります。

ご使用前によくお読みになって、有効に活用してください。

また、本書は読んだあとも大切に保管しておいてください。

最新のビューソフトウェアは製品紹介ホームページ：canon.jp/webview をご確認ください。

お客様へのお願い

本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されております。

本書の内容は、将来予告なしに変更する場合があります。

本書の内容は、万全を期して作成しております。

万一、ご不審な点や誤り、あるいは記載もれなど、お気づきのことがありましたらご連絡ください。

運用した結果の影響につきましては、上記にかかわらず、一切の責任を負いかねます。

著作権について

著作権についてお客様が撮影した映像や画像等は、個人で楽しむほかは著作権法上、権利者に無断で使用することはできませんのでご注意ください。

音声に関する注意事項

映像と音声は、ずれることがあります。

ご使用の PC の性能やネットワーク環境によっては、音声が入切れることがあります。

プロキシサーバを経由する場合は、音声が入切れることがあります。

ウイルス対策ソフトをご使用の場合、音声が入切れることがあります。

商標について

Canon は、キヤノン株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Microsoft Internet Explorer は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Netscape は Netscape Communications Corporation の商標です。

Java は米国 Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

その他記載された会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本書では、「Microsoft Windows」のことを Windows と記述します。

表記について



お願い

操作上必ず守っていただきたい注意事項や制限事項が書かれています。必ずお読みください。



メモ

操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

WebView Livescope の概要

WebView Livescope は、ライブ映像配信と遠隔地からのカメラ制御を実現するシステムです。

システム構成は、カメラサーバとビューソフトウェアからなります。カメラサーバは、ビデオカメラから撮った映像をインターネット / イン트라ネットに向けてライブ配信します。ビューソフトウェアでは、その映像を表示し、遠隔地からのカメラ制御を行うことができます。

WebView Livescope は、ホームページからのライブ映像配信やモニタリングなど幅広い用途で活用いただけるシステムです。

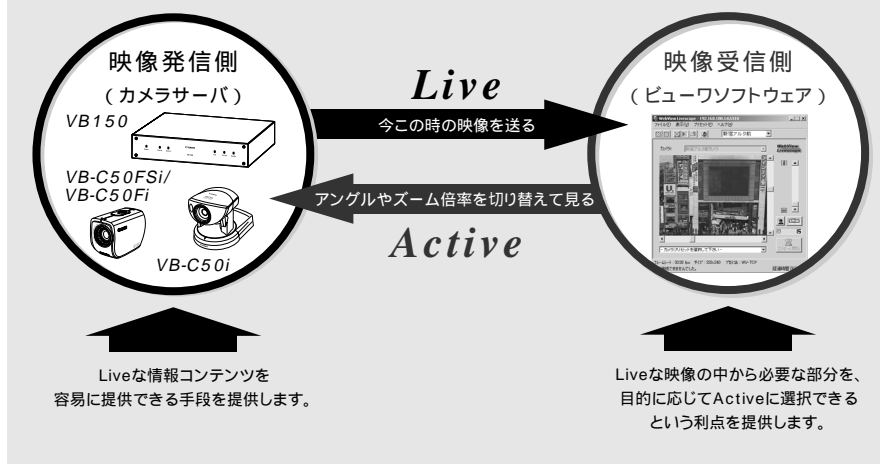
カメラサーバには次の種類があります。

- ・ネットワークカメラサーバ VB150
- ・ネットワークカメラ VB-C50i / VB-C50i R
- ・ネットワークカメラ VB-C50FSi
- ・ネットワークカメラ VB-C50Fi

ビューソフトウェアには次の種類があります。

- ・Java 用ビュー (本書: カメラサーバ製品に無償同梱)
- ・PC 用ビュー (本書: カメラサーバ製品に無償同梱)
- ・ネットワークビデオレコーダ VK-64 (別売)
- ・WebView Livescope MV Ver.2.1 / LE (別売)

WebView Livescopeは、ホームページを見るユーザが、Live(今この時)な映像を、アングルやズーム倍率をActive(自分自身で切り替えながら)に見ることができるシステムです。



Ver.3.3 からビューの名称を変更しました。

PC 用ビュー (旧ヘルパー版ビュー)

Java 用ビュー (旧 Java 版ビュー)

ビューワの概要

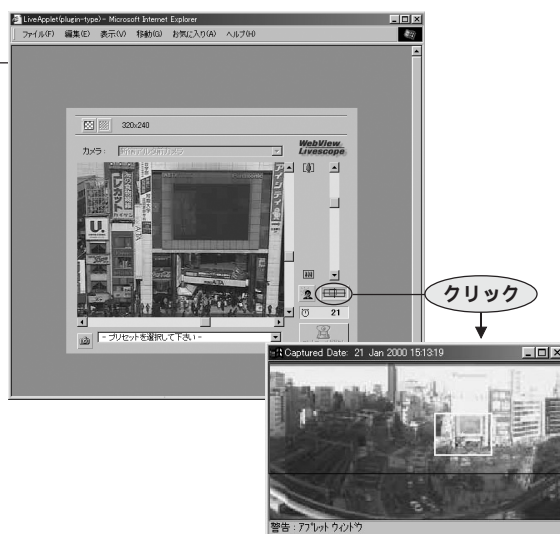
WebView Livescope ビューワソフトウェアは、Java 用ビューワと PC 用ビューワの 2 種類があります。

Java 用ビューワ

Java で実現したビューワです。Java が動作する Web ブラウザがあれば、プラットフォームに依存せずカメラサーバの映像を見ることができます。ビューワ起動時に Java のアプレットをダウンロードしてくるため、最初の映像が表示されるまで多少時間がかかります。Java 用ビューワには「映像表示」「カメラ制御」機能を持つビューワ「LiveApplet」と「映像表示」機能を持つビューワ「Glimpse」の 2 種類が用意されています。

LiveApplet

映像表示機能
カメラ制御機能



パノラマ画像

Glimpse

映像表示機能



Java 用ビューワを使用するには、事前に Java VM がインストールされている必要があります。詳細はホームページをご確認ください。

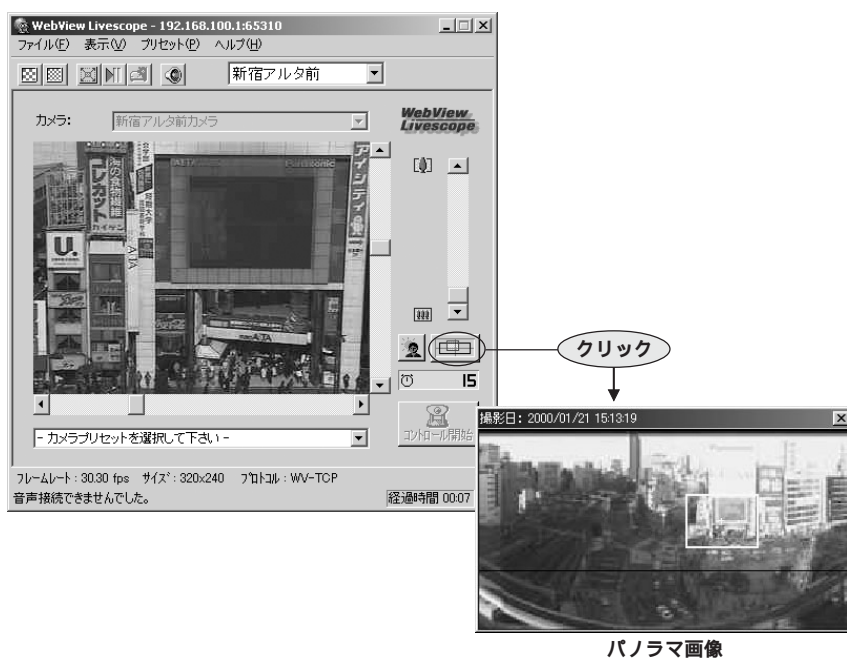
製品紹介ホームページ: canon.jp/webview

パノラマ画像は、あらかじめカメラサーバ側で登録設定しておく必要があります。

VB-C50FSi/VB-C50Fi ではパノラマ画像は使用できません。

PC 用ビューワ

アプリケーションとして実現したビューワです。このビューワには「映像表示」「カメラ制御」機能があり、起動時には別のウィンドウとして表示されます。事前にインストールする必要がありますが、最初の映像表示が速いという利点があります。このビューワは現在 Windows に対応したもののだけが用意されています。



パノラマ画像



お願い

PC 用ビューワは、ネットワークカメラサーバ VB150 およびネットワークカメラ VB-C50i/VB-C50iR、VB-C50FSi、VB-C50Fi に同梱（CD-ROM）されています。また、ホームページからも無償でダウンロードできます。

製品紹介ホームページ：canon.jp/webview

PC 用ビューワは事前にインストールが必要です（ P.25 ）。

パノラマ画像は、あらかじめカメラサーバ側で登録設定しておく必要があります。

VB-C50FSi/VB-C50Fi ではパノラマ画像は使用できません。

音声を再生する際には、「音声に関する注意事項」（ P.4 ）をよくお読みください。

VB-C50Fi では音声入出力は使用できません。



メモ

Java 用ビューワはカメラサーバからダウンロードされた後、映像を表示しますので、あらかじめインストールされている PC 用ビューワより起動に時間がかかります。はじめてカメラサーバに接続して映像を表示する際には Java 用ビューワが便利です。頻繁に映像をご覧になる場合は、PC 用ビューワをインストールしてご利用ください。

動作環境

最新の情報は、ホームページをご確認ください。

製品紹介ホームページ: canon.jp/webview

Java用ビューワ Ver. 3.6

OS/Webブラウザ	Windows 2000 (SP4)/Microsoft Internet Explorer 6.0 (SP1)、Netscape 7.1、7.2 Windows XP (SP1a)/Microsoft Internet Explorer 6.0 (SP1)、Netscape 7.1、7.2 Windows XP (SP2)/Microsoft Internet Explorer 6.0 (SP2)、Netscape 7.1、7.2 Windows Server 2003 Standard Edition /Microsoft Internet Explorer 6.0、Netscape 7.1、7.2 Windows Server 2003 Standard Edition (SP1) /Microsoft Internet Explorer 6.0 (SP1)、Netscape 7.1、7.2
Java VM	MSVM Release 5.0.0.3810 (Microsoft製 Java VM) Java Plug-in 1.4.2 (Sun Microsystems製 Java VM)

事前にJavaVMがインストールされている必要があります。Microsoft製JavaVMがインストールされていない場合は、Sun Microsystems社のホームページからダウンロードしてインストールしてください。

上記以外のOSおよびWebブラウザでは、動作が不安定なことがあります。

PC用ビューワ Ver. 3.6

OS/Webブラウザ	Windows 2000 (SP4)/Microsoft Internet Explorer 6.0 (SP1)、Netscape 7.1、7.2 Windows XP (SP1a)/Microsoft Internet Explorer 6.0 (SP1)、Netscape 7.1、7.2 Windows XP (SP2)/Microsoft Internet Explorer 6.0 (SP2)、Netscape 7.1、7.2 Windows Server 2003 Standard Edition /Microsoft Internet Explorer 6.0、Netscape 7.1、7.2 Windows Server 2003 Standard Edition (SP1) /Microsoft Internet Explorer 6.0 (SP1)、Netscape 7.1、7.2
------------	--

カメラサーバに付属のCD-ROMから事前にインストールする必要があります(P.25)。

第1章

Java 用ビューワ

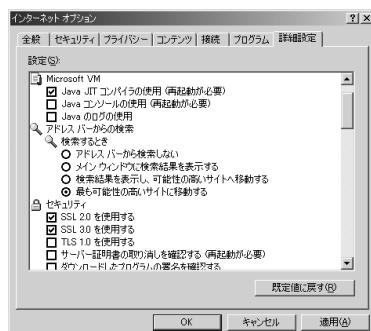
この章では Java 用ビューワを使用するための準備、操作方法を説明します。

Java 用ビューワを使用するための準備

Java 用ビューワは、カメラサーバから自動的にダウンロードされます。ただし、使用する Web ブラウザの種類や使用環境によっては Web ブラウザの設定を変更しなければなりません。

Internet Explorer を使用する場合

Internet Explorer には Java の使用を許可するか、許可しないかを設定する項目があります。メニューの [ツール] - [インターネットオプション] を選び、[詳細設定] タブで [Microsoft VM] の項目の [Java JIT コンパイラの使用] に設定してください。

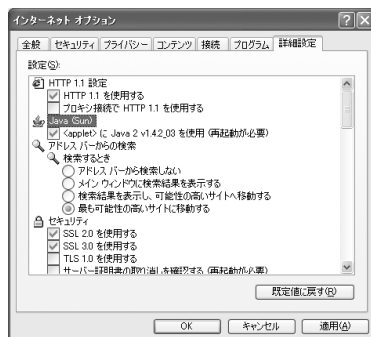


Internet Explorer 6.0 の場合

Windows XP で Java VM がインストールされていない場合があります。その場合は、Java VM をインストールしてください。詳細はホームページをご確認ください。

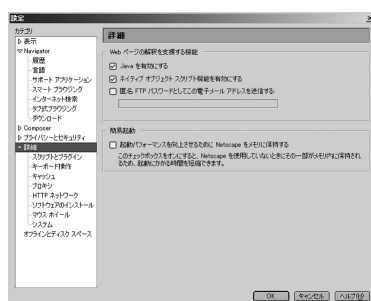
製品紹介ホームページ: canon.jp/webview

インストール後、詳細設定が以下のように表示されます。



Netscape を使用する場合

Netscape には Java の使用を許可するか、許可しないかを設定する項目があります。メニューの [編集] - [設定] を選び、[詳細] で [Java を有効にする] に設定してください。



Netscape 7.1 の場合



お願い

Web ブラウザへの設定は、バージョンにより異なる場合があります。ここでの設定を
ご参考の上、ご確認ください。



メモ

LAN 環境で使用する場合

カメラサーバを LAN 環境で利用する場合、Web ブラウザのプロキシ設定が手動設定になっていると、映像配信がプロキシ経由となり映像フレームレートの低下やプロキシサーバの過負荷などの原因になります。

以下の手順に従い、「プロキシなし」で接続するように設定してください。ただし、ファイアウォール外にあるインターネット上のカメラサーバにアクセスするときは、カメラサーバに関する登録をする必要はありません。

設定例

Internet Explorer の場合

以下の、「設定を自動的に検出する」、「自動構成スクリプトを使用する」または「プロキシの例外指定をする」いずれかの設定をしてください。

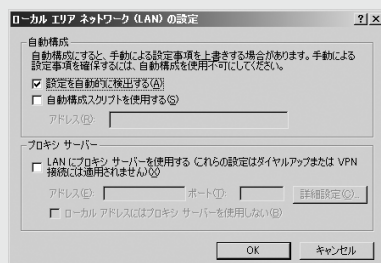
設定を自動的に検出する

メニューの [ツール] - [インターネットオプション] を選択し、[接続] タブをクリックします。

「LAN の設定」ボタンをクリックして、ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定ダイアログを開きます

「自動構成」の [設定を自動的に検出する] にチェックします。

「OK」ボタンをクリックして、ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定ダイアログと、インターネットオプションダイアログを閉じます。この設定を行うと、プロキシの情報が自動的に検出されます。



Internet Explorer 6.0 の場合

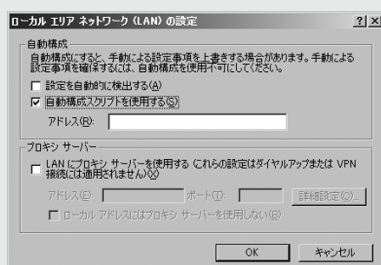
自動構成スクリプトを使用する

メニューの [ツール] - [インターネットオプション] を選択し、[接続] タブをクリックします。

「LAN の設定」ボタンをクリックして、ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定ダイアログを開きます。

「自動構成」の [自動構成スクリプトを使用する] にチェックし、設定ファイルの URL を入力します。(例 : `http://192.168.100.10/proxy.pac`)

「OK」ボタンをクリックして、ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定ダイアログと、インターネットオプションダイアログを閉じます。



Internet Explorer 6.0 の場合

プロキシの例外指定をする

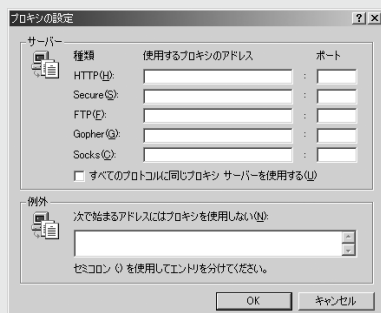
メニューの [ツール] - [インターネットオプション] を選択し、[接続] タブをクリックします。

「LAN の設定」ボタンをクリックして、ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定ダイアログを開きます。

「プロキシサーバー」の [LAN にプロキシサーバーを使用する] にチェックし、「詳細設定」ボタンをクリックします。

「例外」テキストボックスに、[カメラサーバの IP アドレス : HTTP 変換サーバのサービスポート] を入力します。複数指定がある場合は「;」(セミコロン) で区切って入力します。(例 : `192.168.100.1:80;192.168.0.20:80`)

「OK」ボタンをクリックして、プロキシの設定ダイアログと、ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定ダイアログ、インターネットオプションダイアログを閉じます。



Internet Explorer 6.0 の場合

Netscape の場合

以下の「プロキシの例外指定をする」または「自動プロキシ構成を使用する」いずれかの設定をしてください。

自動プロキシ構成を使用する

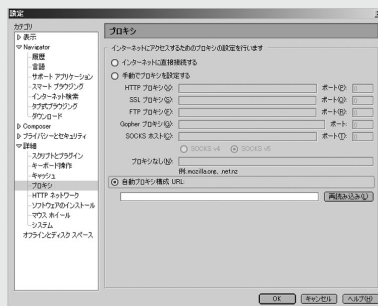
メニューの [編集] - [設定] を選択します。

[詳細] - [プロキシ] を選択し、[自動プロキシ構成] をチェックします。

「URL」テキストボックスに、設定ファイルの URL を入力します。

(例 : `http://192.168.100.1/proxy.pac`)

「OK」ボタンをクリックし、設定ダイアログを閉じます。



Netscape 7.1 の場合

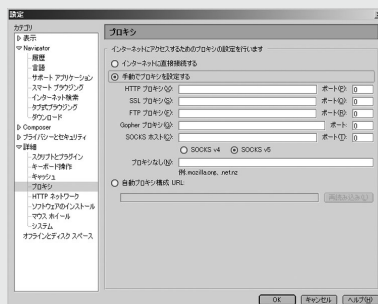
プロキシの例外指定をする

メニューの [編集] - [設定] を選択します。

[詳細] - [プロキシ] を選択し、[手動でプロキシを設定する] をチェックします。

[プロキシなし] テキストボックスに、[カメラサーバの IP アドレス : HTTP 変換サーバのサービスポート] を入力します。複数指定がある場合は「;」(セミコロン) で区切って入力します。(例 : `192.168.100.1:80;192.168.0.20:80`)

「OK」をクリックして、設定ダイアログを閉じます。



Netscape 7.1 の場合

Java 用ビューワを起動する

Java 用ビューワは、映像配信用のホームページを表示した Web ブラウザから起動します。
映像配信用のホームページの作成は、ご使用のカメラサーバの使用説明書を参照してください。



映像配信用のホームページを表示した Web ブラウザで、「Java用ビューワで見る」などのボタンをクリックすると、Java 用ビューワが起動し、カメラサーバに接続します。

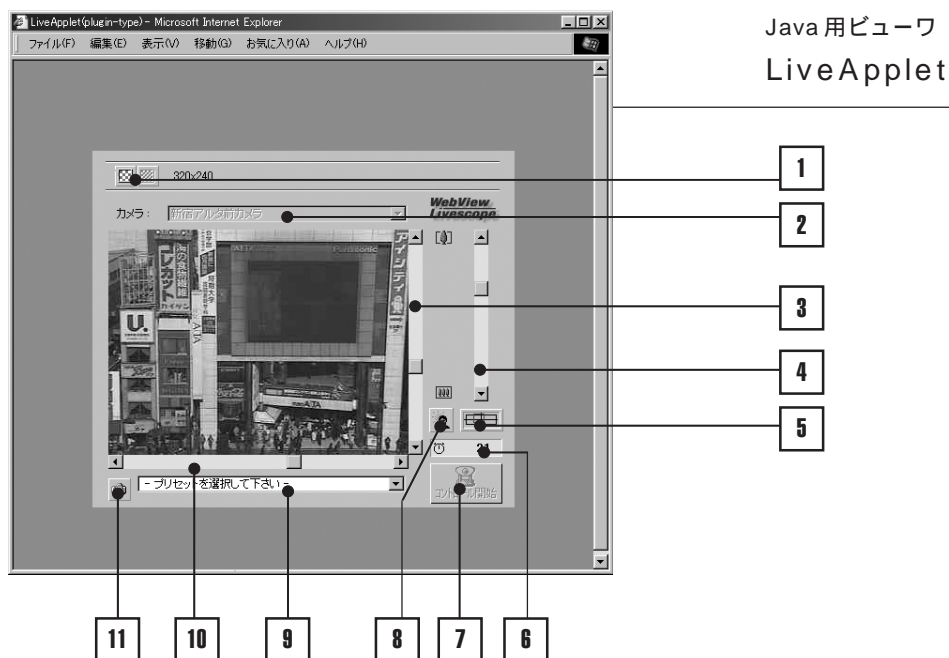
クリック



Java 用ビューワの操作方法

「LiveApplet」の表示画面について

Java 用ビューワは 2 種類あります（ P.6 ）。ここでは「LiveApplet」の説明をします。
「LiveApplet」はカメラのアンクルやズーム倍率、逆光補正などを変更できる GUI を持ったビューワです。Web ブラウザに表示された GUI の機能の概要を説明します。



- 1** 映像ソースサイズ変更ボタン
表示される映像ソースサイズを右側のボタンで一段階細かく、左側のボタンで一段階粗く変更します。粗くするとフレームレートが高くなり、細くすると画質が良くなります。
映像ソースサイズ変更ボタンはカメラサーバにより表示されない場合があります。
- 2** カメラ選択ボックス
カメラサーバに複数のカメラが設置されているときにカメラの選択を行えます。
- 3** チルト用スクロールバー
カメラのチルト（上下）を変更するスクロールバー。
VB-C50FSi/VB-C50Fi では表示されません。
- 4** ズーム用スクロールバー
ズームの倍率を変更するスクロールバー。
つまみを上方向に移動するとズームイン（望遠）、下方向に移動するとズームアウト（広角）します。
- 5** パノラマ表示ボタン
パノラマウィンドウをポップアップ表示します。カメラサーバ側でパノラマ画像を登録しておく必要があります。登録されていない場合、パノラマ画像は表示されません。
VB-C50FSi/VB-C50Fi では表示されません。

- 6

カメラ制御状況ウィンドウ

カメラ制御の情報（「カメラ制御できる」「カメラ制御できない」「順番を待っている」「カメラ制御の残り時間」）が表示されます。
- 7

コントロール開始ボタン

カメラ制御の権利を獲得するためのボタン。
- 8

逆光補正ボタン

逆光補正を行います。映像が逆光で暗いときに使用すると効果があります。もう一度ボタンをクリックすると解除されます。
- 9

プリセット選択ボックス

カメラサーバにあらかじめ登録されているベストアングル（プリセット）により、カメラを制御することができます。
- 10

パン用スクロールバー

カメラのパン（左右）を変更するスクロールバー。
VB-C50FSi/VB-C50Fiでは表示されません。
- 11

スナップショットボタン

現在表示されている動画のスナップショットを別ウィンドウに表示します。画面の印刷や保存に使用できます。

パノラマウィンドウ

VB-C50FSi/VB-C50Fiでは使用できません。

パノラマウィンドウ上をクリックしたり、枠をドラッグすることでカメラ操作を行うことができます。



黒い枠表示は、カメラの中心が移動できる範囲を示しています。この枠を越えて外にカメラの中心を移動操作することはできません。

青い枠表示は、制御権を持たないときの現在のカメラの撮影している領域を示しています。

制御権を取得したときには黄色い枠表示に変わり、現在のカメラの撮影している領域を示すと同時に、黄色の枠内をドラッグしてパン・チルト操作を行ったり、枠上をドラッグしてズーム操作を行うことができます。



お願い

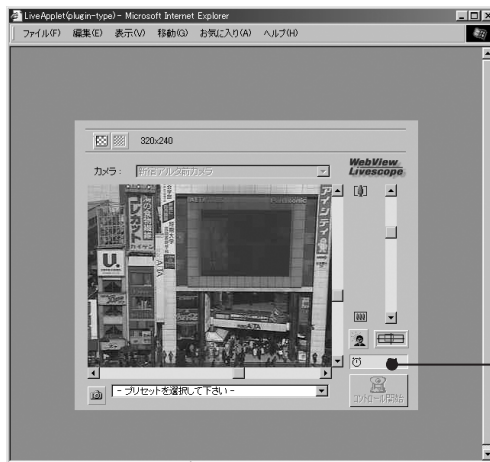
カメラサーバ側で可視範囲設定を行なっている場合、パノラマウィンドウの大きさが変わる場合があります。

カメラ制御を開始する

カメラサーバは同時に複数のクライアントから接続することができますが、カメラの制御は同時に複数のクライアントからは制御できません。そのため「制御権」という考え方を導入し、制御権を取得したクライアントだけがカメラを制御できるようになっています。逆光補正やプリセットの使用も制御権を取得しなければ制御できません。

操作のしかた

[コントロール開始] ボタンをクリックして、制御権を取得します。



カメラ制御状況ウィンドウ
カメラ制御の状態を表示します

カメラ制御の状況表示

カメラの制御状態によって表示状態が以下のように変わります。

- 1 カメラの制御がない場合。
- 2 [コントロール開始] ボタンをクリックして、カメラサーバと通信している状態。カメラサーバの応答が速いときは表示されません。
- 3 制御取得の予約待ち状態。人マークの横に表示される数字は、制御を獲得できるまでの予測時間。ただし、カメラ制御を中止したり、予約待ちから抜ける人がいるので、時間表示が「0」になる前に制御権を獲得できることがあります。
- 4 制御権を取得した状態。時計マークの横に表示される数字はカメラ制御の占有時間。
- 5 制御権占有時間を超えても制御権を保持できる状態。他のクライアントからのカメラ制御要求がないときの状態。
- 6 カメラ制御サーバとの接続が何らかの理由で中断されたり、起動時に接続できなかったり、接続を許可されていないときの状態。状況表示パネルが赤く表示されます。

VB-C50FSi/VB-C50Fi の場合

カメラを制御する

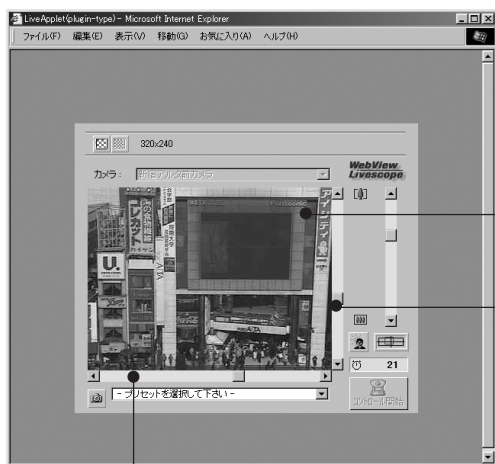
カメラの制御権を取得すると、カメラのアングルやズーム倍率、逆光補正などを自由に行うことができます。

カメラのアングルを変更する

VB-C50FSi/VB-C50Fi では使用できません。

操作のしかた

パン用スクロールバーまたはチルト用スクロールバーのつまみを移動します。
スクロールバーのつまみの位置にあわせてカメラのアングルが変わります。



画像上をクリックすると、その位置にカメラの中心を移動することができます。

チルト用スクロールバー
カメラのチルト（上下）を変更するスクロールバー。

パン用スクロールバー

カメラのパン（左右）を変更するスクロールバー。

パノラマウィンドウでカメラのアングルを変更する

VB-C50FSi/VB-C50Fi では使用できません。



クリックで移動

パノラマウィンドウ上をクリックすると、クリックした場所が中心となるように、パン・チルトを移動します。

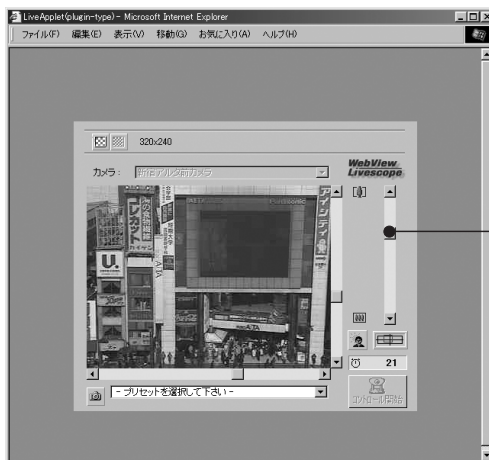
ドラッグで移動

パノラマウィンドウ上の黄色の枠の内側をドラッグして移動すると、その枠内を撮像するようにパン・チルトを移動します。

カメラのズーム倍率を変更する

操作のしかた

ズーム用スクロールバーのつまみを上下に移動します。
スクロールバーのつまみの位置にあわせてカメラのズーム倍率が変わります。



ズーム用スクロールバー

上方向に移動するとズームイン（望遠）
下方向に移動するとズームアウト（広角）

パノラマウィンドウでズーム倍率を変更する VB-C5 0FSi/VB-C5 0Fiでは使用できません。



ドラッグで変更

パノラマウィンドウ上の黄色の枠線をドラッグして、枠のサイズを変更すると、ズーム倍率が変わります。



メモ

枠の外でマウスをクリックし、そのままドラッグすると青い枠が描画されます。マウスを離すと、青い枠が黄色く変化し、枠内を撮像するようにパン・チルト・ズームが移動・変更します。

カメラを選択する

操作のしかた

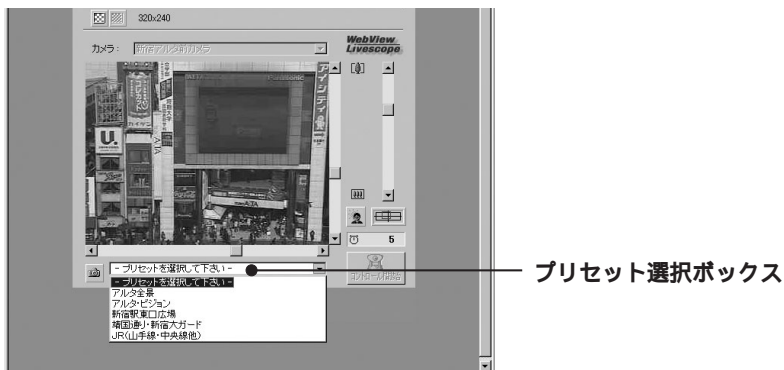
カメラサーバに複数のカメラが設置されているときは、カメラを切り替えることができます。「カメラ」選択ボックスをクリックしてカメラのリストを表示します。リストの中からカメラの名称を選択すると、映像が切り替わります。



プリセットを使用する

操作のしかた

カメラサーバにあらかじめ登録されているベストアングル（プリセット）により、カメラを制御することができます。「プリセット」選択ボックスをクリックしてプリセットのリストを表示します。リストの中からプリセット位置を選択すると、映像の表示が変わります。



お願い

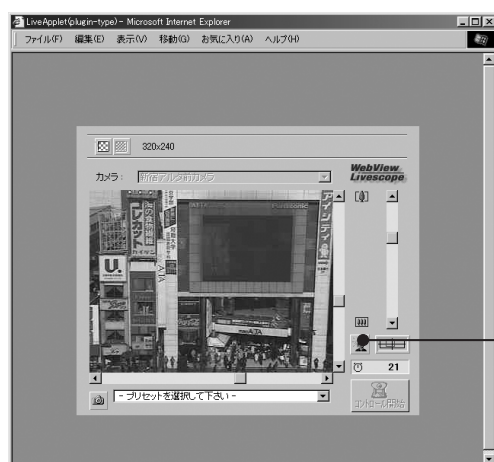
プリセットやカメラの選択肢はカメラサーバで設定したものが候補として表示されます。カメラサーバ側で何も登録していなければ選択肢は表示されません。

逆光を補正する

操作のしかた

映像が逆光で暗いときに使用すると効果があります。

[逆光補正ボタン] をクリックすると、逆光で暗かった映像が明るくなります。
もう一度ボタンをクリックすると解除されます。



逆光補正ボタン

映像のスナップショットを取り込む

操作のしかた

気に入ったライブ映像のスナップショット（静止画）を撮ることができます。スナップショットは使用している Web ブラウザの新規ウィンドウに表示されます。



[カメラマーク]をクリックすると、新規ウィンドウにスナップしたときの映像が表示されます。



お願い

「カメラマーク」をクリックした時点で、新たに映像をキャプチャするため、クリックした時点よりあとの映像が表示される場合があります。

お客様が撮影した映像や画像は、個人で楽しむほかは著作権法上、権利者に無断で使用することはできませんのでご注意ください。

Windows XP SP2およびWindows Server 2003 SP1をご使用の場合、[カメラマーク]をクリックしてもスナップショットを撮ることができない場合があります。その場合は、キーボードのCtrlキーを押しながら[カメラマーク]をクリックするか、表示された[情報バー]ダイアログの指示に従ってポップアップのブロックを解除してください。



メモ

映像を印刷・保存する

Java 用ビューワには表示中の映像を印刷・保存する機能はありません。

しかし、「スナップショット」機能を使用して、映像を保存・印刷することができます。

印刷・保存したい映像のスナップショットを撮ります。

ご使用の Web ブラウザの「保存」「印刷」機能を使用して、保存・印刷します。

「Glimpse」の表示画面について

Java 用ビューワは 2 種類あります (P.6)。ここでは「Glimpse」の説明をします。

「Glimpse」はダウンロード時間を短縮するため、カメラ制御機能を持たず、動画表示のみを行うビューワです。

下図のように複数のサイトの表示を行うときなどに有効です。



Java 用ビューワ
Glimpse

Glimpse は映像表示のみで、カメラ制御機能を持ちません。

第2章

PC用ビューワ

この章ではPC用ビューワを使用するための準備、操作方法を説明します。

PC 用ビューワを使用するための準備

PC 用ビューワをインストールする

PC 用ビューワは、あらかじめ PC 用ビューワをコンピュータにインストールしておく必要があります。

インストール方法については、ご使用のカメラサーバの使用説明書を参照してください。



お願い

PC 用ビューワを使用するには、お使いの PC に Microsoft Internet Explorer 6.0 がインストールされていることが必要です。ビューワインストールの前にあらかじめインストールされていることを確認してください（ P.8 ）

Ver. 3.5 以前のビューワがすでにインストールされている場合、インストール時には古いバージョンのアンインストールをたずねるダイアログが表示されます。再インストールする場合は [はい] ボタンをクリックして、インストール済みのビューワをアンインストールしてから、インストールを続行します。

WebView Livescope MV Ver. 1.0 がすでにインストールされているマシンにインストールすることはできません。



メモ

ホームページからダウンロードしてインストールする場合、以下の手順となります。

ホームページからインストールファイルをダウンロードします。

「wvh361.exe」をダブルクリックします。

画面の指示に従って、インストールを行います。セットアップの完了画面が表示されたら、[完了] をクリックします。

推奨 Web ブラウザ以外でご使用になるには

Web ブラウザから PC 用ビューワを起動して使用する場合は推奨 OS/Web ブラウザは
 Windows 2000 (SP4)/Microsoft Internet Explorer 6.0 (SP1) \ Netscape 7.1、7.2
 Windows XP (SP1a)/Microsoft Internet Explorer 6.0 (SP1) \ Netscape 7.1、7.2
 Windows XP (SP2)/Microsoft Internet Explorer 6.0 (SP2) \ Netscape 7.1、7.2
 Windows Server 2003 Standard Edition/Microsoft Internet Explorer 6.0、Netscape 7.1、7.2
 Windows Server 2003 Standard Edition (SP1)/

Microsoft Internet Explorer 6.0 (SP1)、Netscape 7.1、7.2

です。これ以外の Web ブラウザで使用する場合は設定が必要になることがあります。インストール後にビューワが起動できない場合には、以下の設定を行ってください。

Web ブラウザを起動して、アプリケーションの登録をします。詳しい登録の方法は、Web ブラウザ付属のマニュアルをご覧ください。

MIME タイプ	x-webview-h
拡張子	wvh
アプリケーション	MonView.exe アプリケーション (VBToolsInstall.exe) はインストール先のフォルダの中にインストールされています。 <u>C:\Program Files\Canon\WebView\Viewer\3.6</u> (デフォルトのインストール先)

PC 用ビューワを起動する

PC 用ビューワは、映像配信用のホームページを表示した Web ブラウザから起動する方法と、単独で起動する方法の 2 通りがあります。通常は Web ブラウザから起動します。

映像配信用のホームページの作成は、カメラサーバに同梱 (CD-ROM) の使用説明書を参照してください。

Web ブラウザから起動する



映像配信用のホームページを表示した Web ブラウザで、「PC 用ビューワで見る」などのボタンをクリックすると、PC 用ビューワが起動し、カメラサーバに接続します。

クリック



単独で起動する



ダブルクリック



デスクトップに作られたアイコンをダブルクリックします。

または [スタートメニュー] - [プログラム] - [WebView Livescope] - [PC 用ビューワ] を選択することで起動します。

単独で起動した状態では、カメラサーバへの接続 (P.28) は行われません。

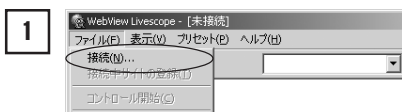
カメラサーバに接続する

PC用ビューワでカメラサーバに接続してモニタリングする際、WebブラウザからPC用ビューワを起動したときは自動的にカメラサーバに接続しますが、PC用ビューワを単独で起動したときには接続先を指定、または登録した接続先を選択します。

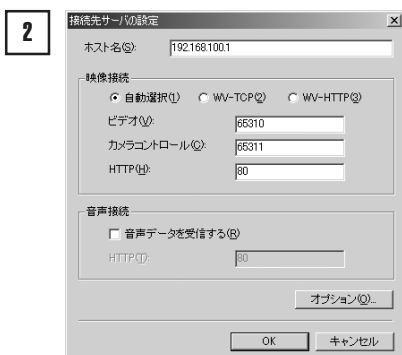
また、あるカメラサーバに接続した状態から別のカメラサーバに接続先を変更したり、複数のPC用ビューワを起動して、それぞれを別のカメラサーバに接続することもできます。

接続先を指定して接続する

接続のしかた



「ファイル」メニューから「接続」を選択します。



接続先を指定するダイアログが表示されます。各項目を入力して「OK」をクリックすると、カメラサーバに接続します。

ホスト名

カメラサーバのIPアドレスを指定します。

映像接続

[自動選択] [WV-TCP] [WV-HTTP]

カメラサーバと、自動選択による接続を行うか、WebView-TCPまたはWebview-HTTPプロトコルによる接続を行うかを選択します。自動選択による接続では、ビューワが自動的に最適なプロトコルを選択してカメラサーバに接続します。ファイアウォール内からカメラサーバに接続する場合は、WebView-HTTPを選択してください。(P.42、43)

[ビデオ] [カメラコントロール] [HTTP]

カメラサーバの各ポート番号を指定します。ポート番号は、カメラサーバ側から指定された値です。通常はデフォルトのままで使用できます。

音声接続

[音声データを受信する]

音声機能のあるカメラで、音声を送信されている場合、チェックが入っていると、音声を受信することができます。

「オプション」ボタンをクリックすると、接続先サーバの設定オプションダイアログが開きます。このダイアログではサイトの登録ができます。「OK」ボタンをクリックすると、接続先サーバの指定ダイアログに戻ります。



サイト登録を行う

チェックすると、入力したカメラサーバ情報がビューワに登録され、選択ボックスから選択するだけで映像を表示することができます。チェック後、「登録名」テキストボックスに、任意の登録名を入力してください。

登録されたカメラサーバを選択して接続する

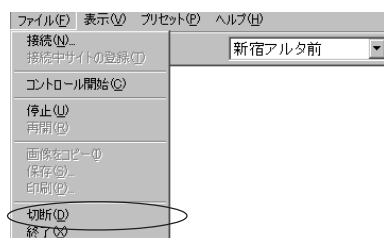
接続のしかた



サイト選択のボックスから、接続先を選択します。こ
こに表示されるカメラサーバは、接続先を指定して
接続する際に「サイトの登録を行う」にチェックを
入れて登録したサイト、または接続中に「接続中サ
イト登録ボタン(P.38)」で登録したサイトです。
サーバの登録と変更(P.45)を参照してください。

切断する

切断のしかた



「ファイル」メニューから「切断」を選択、または
ビューワのウィンドウを閉じて終了します。



お願い

ユーザのアクセス制限がかけられたサイトに接続した場合は、接続許可されたユーザ名およびパスワードの入力を求められます。正しいユーザ名およびパスワードを入力して接続します(カメラサーバの使用説明書を参照)。

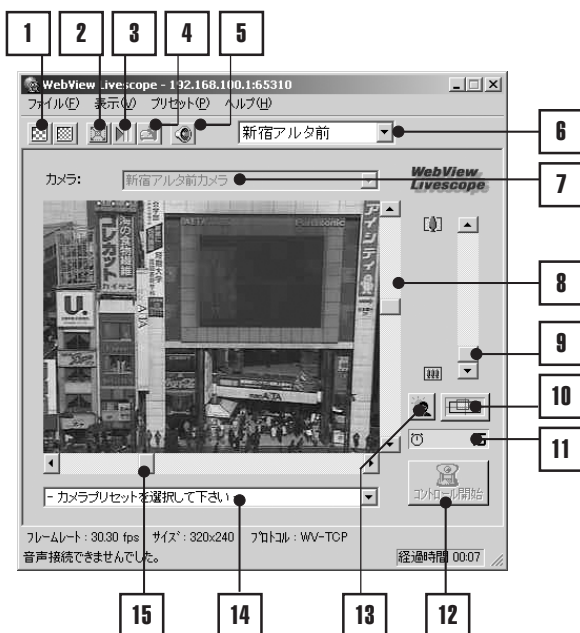


PC 用ビューワの操作方法

「PC用ビューワ」はカメラのアングルやズーム倍率、逆光補正などを変更できるGUIを持ったビューワです。

「PC 用ビューワ」の表示画面について

PC 用ビューワを起動して表示された GUI の機能の概要を説明します。



1 映像ソースサイズ変更ボタン

表示される映像ソースサイズを右側のボタンで一段階細かく、左側のボタンで一段階粗く変更します。粗くするとフレームレートが高くなり、細かくすると画質が良くなります。

2 全画面表示ボタン

映像の全画面表示を行います。[Esc] キーで元の画面表示に戻ります。

3 停止 / 再開ボタン

動画再生を一時停止します。停止状態からクリックすると再開します。

4 接続中サイト登録ボタン

接続中のカメラサイトを登録することができます。

5 オーディオ設定ボタン

音声機能について設定します。

音声機能をサポートしているカメラサーバに接続した場合のみ表示されます。

6 サイト選択ボックス

登録したカメラサイトを選択して、接続することができます。

7 カメラ選択ボックス

カメラサーバに複数のカメラが設置されているときにカメラの選択を行えます。

8 チルト用スクロールバー

カメラのチルト（上下）を変更するスクロールバー。

VB-C50FSi/VB-C50Fi では使用できません。

- 9** ズーム用スクロールバー
ズームの倍率を変更するスクロールバー。
つまみを上方向に移動するとズームイン（望遠）、下方向に移動するとズームアウト（広角）します。
- 10** パノラマ表示ボタン
パノラマウィンドウをポップアップ表示します。カメラサーバ側でパノラマ画像を登録しておく必要があります。登録されていない場合、パノラマ画像は表示されません。
VB-C50FSi/VB-C50Fi では表示されません。
- 11** カメラ制御状況ウィンドウ
カメラ制御の情報（「カメラ制御できる」「カメラ制御できない」「順番を待っている」「カメラ制御の残り時間」）が表示されます。
- 12** コントロール開始ボタン
カメラ制御の権利を獲得するためのボタン。
- 13** 逆光補正ボタン
逆光補正を行います。映像が逆光で暗いときに使用すると効果があります。もう一度ボタンをクリックすると解除されます。
- 14** プリセット選択ボックス
カメラサーバにあらかじめ登録されているベストアングル（プリセット）により、カメラを制御することができます。
- 15** パン用スクロールバー
カメラのパン（左右）を変更するスクロールバー。
VB-C50FSi/VB-C50Fi では使用できません。

パノラマウィンドウ VB-C50FSi/VB-C50Fi では使用できません。

パノラマウィンドウ上をクリックしたり、枠をドラッグすることでカメラ操作を行うことができます。



黒い枠表示は、カメラの中心が移動できる範囲を示しています。この枠を越えて外にカメラの中心を移動操作することはできません。

青い枠表示は、制御権を持たないときの現在のカメラの撮影している領域を示しています。

制御権を取得したときには黄色い枠表示に変わり、現在のカメラの撮影している領域を示すと同時に、黄色の枠内をドラッグしてパン・チルト操作を行ったり、枠上をドラッグしてズーム操作を行うことができます。



お願い

カメラサーバ側で可視範囲設定を行っている場合、パノラマウィンドウの大きさが変わる場合があります。

カメラ制御を開始する

カメラサーバは同時に複数のクライアントから接続することができますが、カメラの制御は同時に複数のクライアントからは制御できません。そのため「制御権」という考え方を導入し、制御権を取得したクライアントだけがカメラを制御できるようになっています。逆光補正やプリセットの使用も制御権を取得しなければ制御できません。

操作のしかた






[コントロール開始] ボタンをクリックして、制御権を取得します。



カメラ制御状況ウィンドウ
カメラ制御の状態を表示します

カメラ制御の状況表示

カメラの制御状態によって表示状態が以下のように変わります。

-  カメラの制御がない場合
-  制御取得の予約待ち状態。
人マークの横に表示される数字は、制御を獲得できるまでの予測時間。ただし、カメラ制御を中止したり、予約待ちから抜ける人がいるので、時間表示が「0」になる前に制御権を獲得できることがあります。
-  制御権を取得した状態。時計マークの横に表示される数字はカメラ制御の占有時間。
-  制御権占有時間を超えても制御権を保持できる状態。他のクライアントからのカメラ制御要求がないときの状態。
-  カメラ制御サーバとの接続が何らかの理由で中断されたり、起動時に接続できなかったり、接続を許可されていないときの状態。状況表示パネルが赤く表示されます。

カメラを制御する

カメラの制御権を取得すると、カメラのアングルやズーム倍率、逆光補正などを自由に行うことができます。

カメラのアングルを変更する

VB-C50FSi/VB-C50Fiでは使用できません。

操作のしかた

パン用スクロールバーまたはチルト用スクロールバーのつまみを移動します。
スクロールバーのつまみの位置にあわせてカメラのアングルが変わります。
また、画像上をクリックすると、その位置にカメラの中心を移動できます。



画像上をクリックすると、その位置にカメラの中心を移動することができます。

チルト用スクロールバー
カメラのチルト（上下）を変更するスクロールバー。

パン用スクロールバー
カメラのパン（左右）を変更するスクロールバー。

パノラマウィンドウでカメラのアングルを変更する

VB-C50FSi/VB-C50Fiでは使用できません。



クリックで移動

パノラマウィンドウ上をクリックすると、クリックした場所が中心となるように、パン・チルトを移動します。

ドラッグで移動

パノラマウィンドウ上の黄色の枠の内側をドラッグして移動すると、その枠内を撮像するようにパン・チルトを移動します。

カメラのズーム倍率を変更する

操作のしかた

ズーム用スクロールバーのつまみを上下に移動します。

スクロールバーのつまみの位置にあわせてカメラのズーム倍率が変わります。



ズーム用スクロールバー

上方向に移動するとズームイン（望遠）
下方向に移動するとズームアウト（広角）

パノラマウィンドウでズーム倍率を変更する VB-C50FSi/VB-C50Fiでは使用できません。



ドラッグで変更

パノラマウィンドウ上の黄色の枠線をドラッグして、枠のサイズを変更すると、変更したスコープを撮像するようにズーム倍率が変わります。



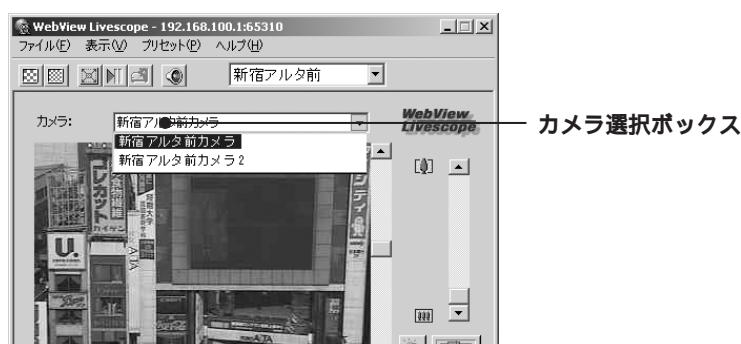
メモ

枠の外でマウスをクリックし、そのままドラッグすると青い枠が描画されます。マウスを離すと、青い枠が黄色く変化し、枠内を撮像するようにパン・チルト・ズームが移動・変更します。

カメラを選択する

操作のしかた

カメラサーバに複数のカメラが設置されているときは、カメラを切り替えることができます。カメラ選択ボックスをクリックしてカメラのリストを表示します。リストの中からカメラの名称を選択すると、映像が切り替わります。



プリセットを使用する

操作のしかた

カメラサーバにあらかじめ登録されているベストアングル（プリセット）により、カメラを制御することができます。

プリセット選択ボックスをクリックしてプリセットのリストを表示します。リストの中からプリセット位置を選択すると、映像の表示が変わります。



お願い

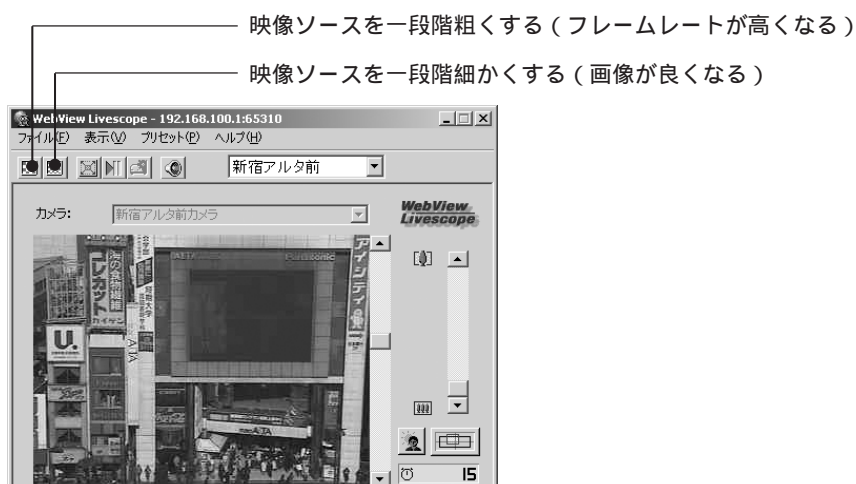
プリセットやカメラの選択肢はカメラサーバで設定したものが候補として表示されます。カメラサーバ側で何も登録していなければ選択肢は表示されません。

映像ソースのサイズを変更する

操作のしかた

カメラサーバに設定されている映像ソースのサイズが複数ある場合、表示するサイズをボタンで選択できます。映像ソースのサイズを変更しても、表示される画像のサイズは変わりません。

映像ソースサイズ変更ボタンはカメラサーバまたは設定により使用しても効果が反映されない場合があります。



全画面表示にする

操作のしかた

ディスプレイ全体に映像を表示することができます。「全画面表示ボタン」をクリックすると、確認のダイアログが表示されますので、「OK」で全画面表示を行います。元の画面に戻るときは



[Esc] キーを押します。また全画面表示中にマウスの右ボタンをクリックすると、メ

ニューが表示され、元の画面に戻したり、パノラマウィンドウを重ねて表示させたりできます。



逆光を補正する

操作のしかた

逆光を補正する映像が逆光で暗いときに使用すると効果があります。

[逆光補正ボタン] をクリックすると、逆光で暗かった映像が明るくなります。
もう一度ボタンをクリックすると解除されます。



動画表示を停止・再開する

操作のしかた

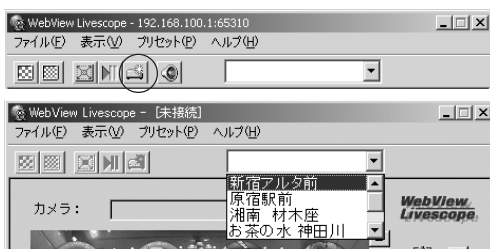
動画表示の停止と再開が行えます。「停止 / 再開ボタン」をクリックします。また、映像画面上でマウスの右ボタンをクリックすると、メニューが表示され、同様に動画の映像を停止することができます。再開も右ボタンをクリックして「再開」を選択して行います。



「停止」で動画映像の停止、
「再開」で停止した映像を動画に戻します。

接続中のカメラサイトを登録する

操作のしかた

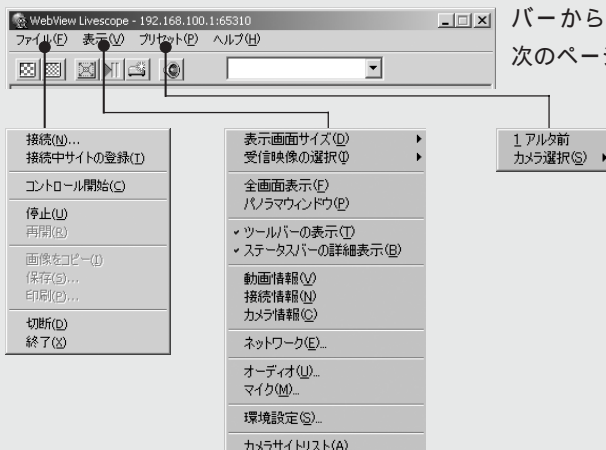


接続中のカメラサイトを登録することで、以降の接続が簡単になります。「接続中サイト登録ボタン」をクリックすると、現在接続しているカメラサイトを登録できます(最大100件)。登録されたカメラサイトは、サイト選択ボックスに表示され、選択するだけで接続が可能になります。登録したカメラサイトの変更・削除も行えます(P.46)。



メニューバーからの操作

表示されたボタンの機能はすべてメニューバーからも操作が可能です。メニューバーからのみ操作できる機能は次のページからになります。



「カメラサイトリスト」の使い方はP.45を参照してください。

音声を再生する

操作のしかた

音声をサポートしていないカメラサーバに接続した場合、使用できません。

[オーディオ設定] をクリックすると、本機から送られてくる音声データについて設定できます。



音声データを再生する：チェックが入っていると、音声を送信されている場合に、音声再生されます。

音量スライダー：音量を調整します。

ミュート：チェックが入っていると、音量がオフになります。



音声を再生する際には、「音声に関する注意事項」(P.4)をよくお読みください。



音声が再生されていても、ビューワを最小化すると、音声は停止します。

映像を保存・印刷する

気に入ったライブ映像のスナップショットを保存したり、印刷することができます。

ファイルに保存する

操作のしかた

- 1 保存したい映像が表示されたときに、「停止 / 再開」ボタンをクリックします。
動画表示が静止画表示になります。
- 2 [ファイル] - [保存] を選択します。
終了したら「停止 / 再開」ボタンをクリックすると動画表示が再開されます。



お願い

お客様が撮影した映像や画像は、個人で楽しむほかは著作権法上、権利者に無断で使用することはできませんのでご注意ください。



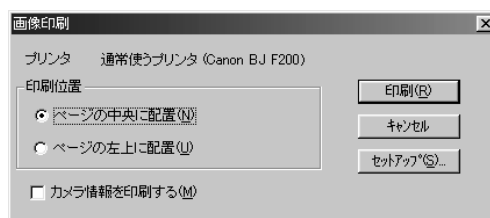
メモ

ファイルの保存形式について
ファイルはBMP形式で保存されます。
Webブラウザや画像ソフトなどで表示することができます。

映像を印刷する

操作のしかた

- 1 印刷したい映像が表示されたときに、「停止 / 再開」ボタンをクリックします。
動画表示が静止画表示になります。
- 2 [ファイル] - [印刷] を選択します。
- 3 印刷を設定します。
プリンタの設定を変更する場合には
「セットアップ」ボタンを押してください。
終了したら「停止 / 再開」ボタンをクリックすると動画表示が再開されます。



設定項目	内 容
印刷位置	画像の印刷位置を指定できる。
カメラ情報を印刷する	チェックボックスをチェックすると、パン・チルトなどのパラメータを同時に印刷できる。

情報を表示する

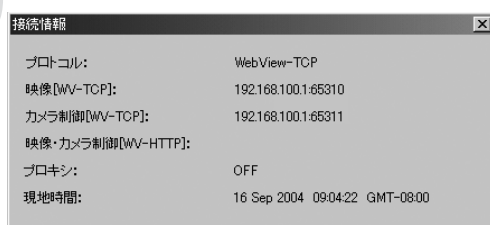
動画、接続、カメラ、ネットワークの情報をダイアログ表示することができます。表示はメニューバーの「表示」から、それぞれ「動画情報」「接続情報」「カメラ情報」「ネットワーク」を選びます。

動画情報



フレームレート
受信フレームレート
サイズ
1 フレームあたりのデータ容量
キャプチャソースサイズ
受信中の画像データの縦・横のサイズ
圧縮形式
サーバの画像圧縮形式

接続情報



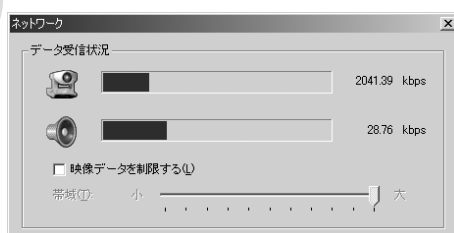
プロトコル
WebView-TCP もしくは WebView-HTTP
映像 [WebView-TCP]
カメラサーバの IP アドレス : ポート番号
カメラ制御 [WebView-TCP]
カメラサーバの IP アドレス : ポート番号
映像・カメラ制御 [WebView-HTTP]
カメラサーバの IP アドレス : ポート番号
プロキシ
プロキシの利用情報
現地時間
カメラサーバの現地時間

カメラ情報



パン
現在のカメラのパン値
チルト
現在のカメラのチルト値
ズーム(視野角)
現在のカメラのズーム(視野角)値
逆光補正
現在の逆光補正の ON/OFF 状態
カメラ機種
接続先のカメラの名前

ネットワーク



インジケータ(カメラマーク)
映像データのネットワーク帯域
インジケータ(スピーカーマーク)
音声受信のネットワーク帯域
音声接続をしていない場合は表示されません
映像データを制限する
映像データの帯域使用量を調節することができます

第3章

PC用ビューワ環境設定

この章ではPC用ビューワの環境設定の方法を説明します。

環境設定

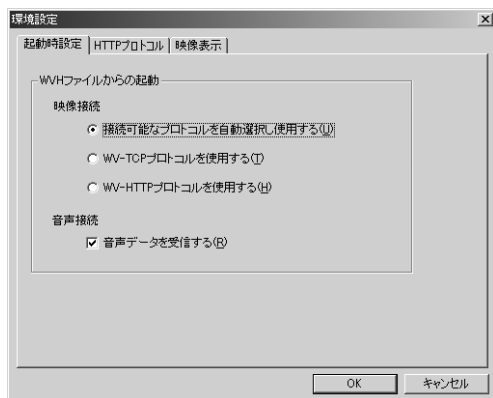
環境設定パネルから、PC用ビューワのさまざまな動作を設定することができます。通常は設定を行う必要はありません。

「起動時設定」を行う

カメラサーバと接続する場合に、WebView-TCP プロトコルと WebView-HTTP プロトコルのどちらのプロトコルで接続するかを設定します。

操作のしかた

- 1 メニューバーの [表示] から [環境設定] を選択します。
- 2 [起動時設定] の「WVH ファイルからの起動時に使用するプロトコル」を選択します。



「接続可能なプロトコルを自動選択し使用する」

接続環境が不明な場合に使用します。この場合、まず WebView-TCP で接続を試みた後、WebView-HTTP で接続を試みます。

「WV-TCP プロトコルを使用する」

WebView 専用の TCP 上のプロトコル、WebView-TCP プロトコルを使用して接続します。ファイアウォールを通過するには専用のアプリケーションゲートウェイが必要です。

「WV-HTTP プロトコルを使用する」

一般的な HTTP 規約を元にした WebView のプロトコル、WebView-HTTP プロトコルを使用して接続します。HTTP の Proxy をそのまま使用することができ、ファイアウォールを通過できます。

「音声データを受信する」

音声データを受信しないようにするには、チェックを外します。



お願い

ファイアウォール内から映像をご覧いただくには

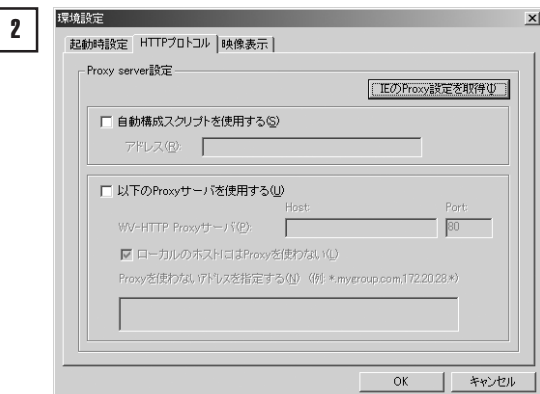
WebView-HTTP プロトコルを使ってファイアウォール内から映像をご覧いただく場合には、HTTP プロキシの設定が必要になります。Web ブラウザなどに設定されている HTTP プロキシをそのまま利用できます。ファイアウォール内からのアクセスの場合、通常は WebView-HTTP プロトコルをご利用ください (設定の詳細は P.43 参照)。

「HTTP プロトコル」の設定

WV-HTTP プロトコルで接続する際の設定を行います。

操作のしかた

- 1 メニューバーの[表示]から[環境設定]を選択し、[HTTP プロトコル]タブを選択します。



各項目を入力します。「IE の Proxy 設定を取得」ボタンをクリックすると、Internet Explorer の HTTP プロキシ設定を自動で取得できます。

自動構成スクリプトを使用する

自動構成スクリプトを使用したい場合にチェックします。チェック後、「アドレス」テキストボックスに、設定ファイルの URL を入力してください。

以下の Proxy サーバを使用する

[WV-HTTP Proxy サーバ]

プロキシを使用した HTTP を使いたい場合にチェックします。これを使用することでファイアウォールを通過できます。チェック後、「Host」テキストボックスに HTTP プロキシサーバのホストのドメイン名、または IP アドレスを入力し、「Port」テキストボックスにポート番号を入力してください。

[ローカルのホストには Proxy を使わない]

ローカルのアドレスにプロキシを使用したくない場合、チェックします。

[Proxy を使わないアドレスを指定する]

プロキシを使用しなくてもアクセス可能なサーバに対して、プロキシを使わないように設定できます。テキストボックスに、プロキシを使わないホストのドメイン名、または IP アドレスを入力します。複数指定の場合は「,」（カンマ）で区切って指定してください。



メモ

[Proxy を使わないアドレスを指定する] のホスト名には「*」（アスタリスク）を用いたワイルドカードが使用できます。これによって複数のホストを一度に指定できます。

(例)

192.168.100.*

IP アドレスの上位部分が 192.168.100 のホストにはプロキシを使わない。

*.webview.co.jp

ネットワーク部のドメイン名が webview.co.jp のホストにはプロキシを使わない。

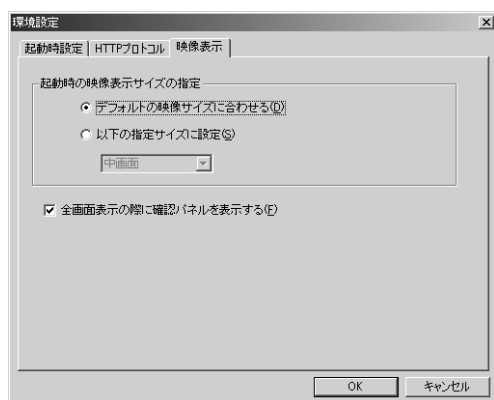
「起動画面サイズ」の設定

起動時の映像表示サイズを設定することができます。ただし、起動時のオープニング画面は320 × 240の画像サイズで表示されます。

操作のしかた

1 [表示]メニューの[環境設定]から[映像表示]を選択します。

2 「起動時の映像表示サイズの指定」を選択します。

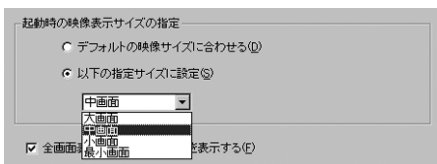


「デフォルトの映像サイズに合わせる」

サーバと接続した際に、最初に送信された画像サイズに合わせて起動します。

「以下の指定サイズに設定」

大画面、中画面、小画面、最小画面の4種類から選択できます。



メモ

接続先によっては、画面サイズが異なります。

	NTSC	PAL
大	640 × 480	768 × 576
中	320 × 240	384 × 288
小	160 × 120	192 × 144
最小	80 × 60	96 × 72

サーバの登録と変更

カメラサーバを登録すると、以降、登録したサーバを選択するだけで簡単に接続できます。
ここでは、カメラサーバの登録と変更の方法を解説します。

カメラサイトリストに登録する

リストに追加する

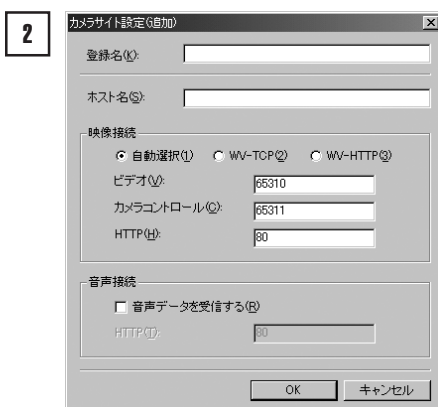
カメラサーバに接続中に登録する場合は「接続中サイト登録ボタン」または「ファイル」メニューの「接続中サイトの登録」で登録が可能です。接続していない場合は以下の操作で登録を行います。

操作のしかた



[表示] [カメラサイトリスト]を選択します。
表示された「カメラサイトリスト」の「追加」をクリックします。

カメラサイトは最大100件の登録ができます。



接続先を指定するダイアログが表示されます。各項目を入力して「OK」をクリックすると、カメラサーバがリストに追加されます。

登録名

登録するカメラサーバの名称を自由に決めることができます。

ホスト名

カメラサーバのIPアドレスを指定します。

映像接続

[自動選択] [WV-TCP] [WV-HTTP]

カメラサーバと、自動選択による接続を行うか、WebView-TCPまたはWebview-HTTPプロトコルによる接続を行うかを選択します。自動選択による接続では、ビューワが自動的に最適なプロトコルを選択してカメラサーバに接続します。ファイアウォール内からカメラサーバに接続する場合は、WebView-HTTPを選択してください。(P.42、43)

[ビデオ] [カメラコントロール] [HTTP]

カメラサーバの各ポート番号を指定します。ポート番号は、カメラサーバ側から指定された値です。通常はデフォルトのまま使用できます。

音声接続

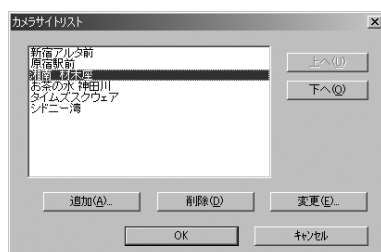
[音声データを受信する]

音声データを受信するには、チェックを入れます。

リストの登録内容を変更・削除する

操作のしかた

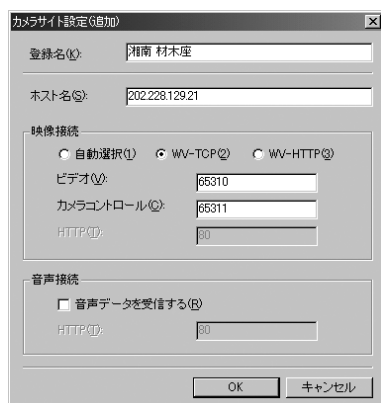
1



[表示]-[カメラサイトリスト]を選択して、リストに登録された、変更・削除したいカメラサイトを選択します。

内容を変更したい場合は「変更」を、削除したい場合は「削除」をクリックします。

2



内容を変更します。「OK」ボタンをクリックすると、変更が反映されます。

3



カメラサイトを選択した状態で、「上へ」または「下へ」ボタンをクリックすると、登録の順序を変えることができます。この順序は、サイト選択ボックスでのリスト表示の順序に反映されます。

付録

ここでは、ビューワが表示するメッセージの説明をします。

エラーメッセージ一覧

Java 用ビューワのエラーメッセージ

状況	接続時
メッセージ	too many clients
内容	映像サーバの接続制限数を越えています。
対策	カメラサーバにアクセスが集中していることが予想されます。しばらく時間を置いて再接続してください。

状況	接続時
メッセージ	can't connect version mismatched
内容	カメラサーバのバージョンが異なります。
対策	Webブラウザのキャッシュをクリアしてください。

状況	接続時
メッセージ	can't connect
内容	カメラサーバに接続できません。
対策	映像配信ホームページの記述が誤っているか、またはカメラサーバ側に問題があります。映像配信ホームページの管理者にご確認ください。

状況	カメラ制御権取得時
メッセージ	couldn't get camera control 制御権待ちに入れませんでした
内容	カメラ制御サーバの制御権待ち人数制限を越えてしまっています。
対策	カメラサーバにアクセスが集中していることが予想されます。しばらく時間を置いて再度制御権を取得してください。

状況	接続時
メッセージ	camera control is disabled カメラ制御はできません
内容	カメラ制御サーバとの接続ができません。
対策	映像配信者側でカメラ制御を禁止している為で、正常動作です。

状況	接続時
メッセージ	camera is off-line or abnormal カメラが電源OFFか異常です
内容	接続しているカメラの電源が切れています。または、RSケーブルが未接続となっています。
対策	カメラサーバ側に問題があります(カメラ本体の電源やRSケーブルの接続など)。映像配信ホームページの管理者にご確認ください。

状況	切断時
メッセージ	disconnected
内容	接続制限時間が過ぎたか、または、カメラサーバ側の再起動処理等で切断されました。
対策	再接続する場合には、Webブラウザでページの再読み込み(更新)を行ってください。

PC用ビューワのエラーメッセージ

状況	接続時
メッセージ	映像サーバに接続できませんでした。
内容	映像サーバに接続できませんでした。
対策	映像配信ホームページの記述が誤っているか、またはカメラサーバ側に問題があります。映像配信ホームページの管理者にご確認ください。

状況	接続時
メッセージ	ただいま混雑していますのでしばらくしてから接続してください。
内容	映像サーバの接続制限数を超過しています。
対策	カメラサーバにアクセスが集中していることが予想されます。しばらく時間をおいて再接続してください。

状況	接続時
メッセージ	カメラ制御サーバに接続できませんでした。映像のみご利用になれます。
内容	カメラ制御サーバに接続できませんでした。
対策	映像配信者側でカメラ制御を禁止しているためで、正常動作です。

状況	接続時
メッセージ	制御権待ちに入れませんでした。
内容	カメラ制御サーバの制御権待ち人数制限を越えています。
対策	カメラサーバにアクセスが集中していることが予想されます。しばらく時間を置いて再接続してください。

状況	接続時
メッセージ	映像サーバは接続制限されています。
内容	カメラサーバの設定で、接続可能なクライアントが接続制限されています。
対策	正常動作です。この状態はカメラサーバの管理者が設定したものです。

状況	接続時
メッセージ	カメラの電源が切れているか、カメラに異常があります。
内容	接続しているカメラの電源が切れています。または、RSケーブルが未接続となっています。
対策	カメラサーバ側に問題があります(カメラ本体の電源やRSケーブルの接続など)。映像配信ホームページの管理者にご確認ください。

状況	接続時
メッセージ	WVHファイルの内容が不正です。
内容	WVHファイル内の情報に不正がありました。
対策	映像配信用ホームページの記述(WVHファイル)が誤っているか、またはカメラサーバ側に問題があります。映像配信ホームページの管理者にご確認ください。

状況	切断時
メッセージ	接続が切れました。
内容	接続制限時間を過ぎたか、または、カメラサーバ側の再起動処理等で切断されました。
対策	再接続する場合には、映像配信ホームページからPC用ビューワを起動してください。

状況	接続時
メッセージ	音声接続できませんでした。
内容	カメラサーバ側で音声接続を許可していないか、音声接続機能がない機種です。
対策	カメラサーバの管理者にご確認ください。

索引

< アルファベット >

Glimpse 6, 23
Glimpse の表示画面 23
Java 用ビューワ 5, 6, 8, 10
Java の使用を許可する 10
LAN 環境で使用する 11
LiveApplet 6, 15
LiveApplet の表示画面 15
MIME タイプ 26
PC 用ビューワ 5, 7, 8, 25
Proxy 12, 43
WebView Livescope MV 25
WV-HTTP プロトコル
28, 42, 43, 45
WV-TCP プロトコル
28, 42, 45
WVH 26, 42

< あ行 >

映像ソースサイズ変更ボタン
15, 30
映像の保存と印刷 39

< か行 >

カメラ情報の表示 40
カメラ制御 17, 32
カメラ制御の状況表示 17, 32
カメラ選択ボックス
15, 20, 30, 35
カメラのアンングル 18, 33
カメラのズーム倍率 19, 34
画面サイズ 44
環境設定 42
逆光補正 16, 21, 31, 37
起動時設定 42
コントロール開始ボタン
16, 17, 31, 32

< さ行 >

スナップショット (静止画)
22
ズーム用スクロールバー
15, 19, 31, 34
制御権 17, 32
接続情報の表示 40
全画面表示 36

< た行 >

チルト用スクロールバー
15, 18, 30, 33
動画情報の表示 40
動画表示の停止と再開 37

< な行 >

ネットワーク情報の表示 40

< は行 >

パノラマウィンドウ
18, 19, 33, 34
パノラマ表示ボタン 15, 31
パン用スクロールバー
16, 18, 31, 33
プリセット選択ボックス
16, 20, 31, 35

Canon

キヤノン株式会社

キヤノン販売株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6